

## 3 万年前の航海 徹底再現プロジェクト 竹筏舟の海上実験：中間報告

6月9日午前に行った現地記者会見の内容をお知らせします。

### <今回の竹筏舟>

- ・ かつて台湾東岸で竹筏を作って漁をしていた台湾原住民・アミ族の知識を借り、航海を目的とした竹の舟を独自設計しました。
- ・ 使った竹： 数ある竹の種類の中で、アミ族は、木質部が薄く空洞部が大きいため浮力に優れる麻竹（マチク）を好んで竹筏の材料に使っていました。今回の舟にはその麻竹の中でもとりわけ太く、直径が 13.5～16.5cm ある太い個体を使用しました。太い竹は細い竹に比べて浮力に勝りますが、曲げるなどの加工の融通が利きにくい難点もあります。このように巨大な竹も 3 万年前の石器で切れることは、実験で証明済みです。
- ・ 設計： 伝統的な竹筏が平らなかたちをしているのに対し、私たちの舟はスピードが上がるように細長い舟型に設計しました。
- ・ 完成した舟： 基部の直径が 13.5～16.5 cm ある太い竹を 11 本使っています。組み上がった舟の長さは 10.5 m、幅は 1.0 m です。結びはアミ族が竹筏の製作に使っていた籐を使用しました。
- ・ 性能： 5 人乗りの舟です。海上での安定性に不安はありませんでした。速度は昨年ヒメガマ舟と大きくは変わらず、概算で 2 ノット（時速 3.7km 程度）と思われます。ヒメガマ舟との主な違いは、竹筏舟の方がやや軽く、進水後に長期間使える点などが上げられます。一方で竹の割れを防いだり、割れた部分の補修をしたりといった維持管理の手間がかかります。

\*\*\*\*\*

本件についてのお問合せ先：

海部陽介（プロジェクト代表）

TEL: 050-5806-1671（インターネット電話）

E-mail: kaifu@kahaku.go.jp または gokaiфу@gmail.com

## <漕ぎ手>

日本人と台湾人および男女の混成チームです。  
皆シーカヤックなどの舟漕ぎ経験が豊富です。

(氏名 姓別 住所)

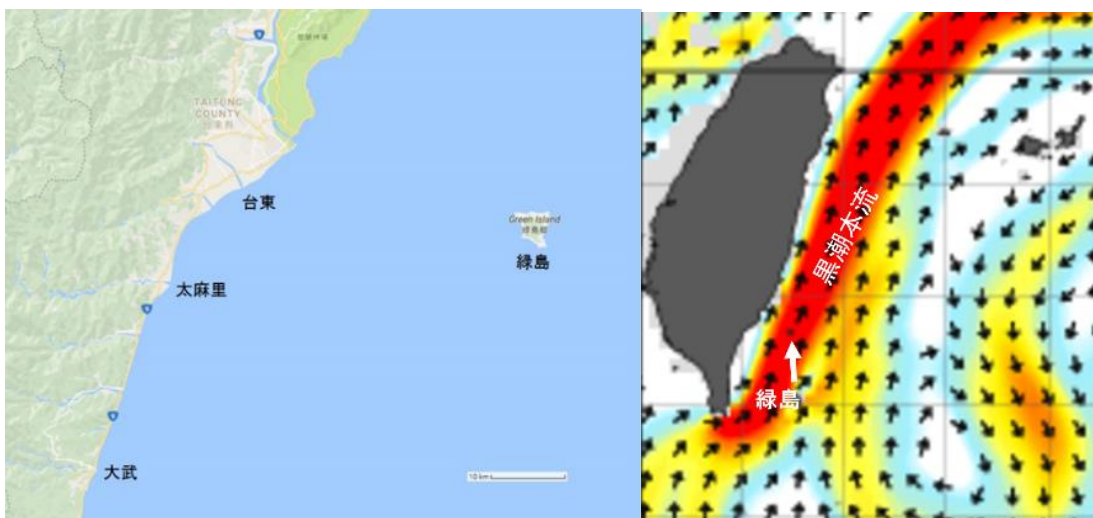
原 康司	男	45才	山口県 (日本人)
鈴木克章	男	39才	静岡県 (日本人)
内田沙希	女	28才	神奈川県 (日本人)
宗元開	男	63才	台湾・新北市 (台湾人)
張宏盛	男	23才	台湾・台東市 (台湾人)

## <今後のスケジュール> ※変更になる可能性があります

6月10日	テスト航海準備 (滞在は杉原海水浴場)
6月11日	テスト航海準備 (滞在先未定)
6月12~14日	海峡横断テスト航海 (この日程のどこか) 到着後現地記者会見 (到着した場所で)
6月15日	撤収

## <海峡横断テスト航海>

6月12~14日のどこかで、今回の実験の仕上げとして長距離海峡横断航行テストを実施します。目標は、黒潮本流の真っ只中にある緑島ですが、困難なチャレンジとなることが予測されます。6月8日に我々自身が確認したこの付近の黒潮の流れが3ノット前後あり、これが我々の舟よりも速いためです。現在、その対策を練っているところで出発地も決まっていません。2019年に予定している台湾→与那国島航海では黒潮横断をしなければならないので、ある意味今回の実験は、その予行演習ともなります。



日別海流解析図 (気象庁)

## 画像提供

報道用に下の写真・図を提供いたします。下記からダウンロードしてください。

<http://firestorage.jp/download/ec54343fc78220a93b6376734304978d5a5236e5>

ダウンロードパスワード rzpt2gqt

- ・ 使用目的は今回の報道に限らせていただきます。
- ・ クレジット表記 提供：国立科学博物館「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」などと記してください。短くする場合は「国立科学博物館」を削除して構いません。
- ・ トリミングして構いません。
- ・ 撮影は全て本日の記者会見時です。

IMG\_2822 儀式の様子

IMG\_2874 竹筏舟と5人の漕ぎ手

IMG\_2923 海に浮かんだ竹筏舟

IMG\_2942 海に浮かんだ竹筏舟